

3 母子保健の現状

(1) 低出生体重児数

「低出生体重児」とは、出生児の体重が2,500グラム未満の出生児をいいます。

年による増減があるものの、実数ベースで見ると、近年増加傾向にあると言えます。

今後も、低出生体重児については、保健所と連携を図り、早期に訪問指導等を行っていく必要があります。

表1-2-11 低出生体重児数の推移

(単位:人)

	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年
上勝町	—	—	1	4	2	1
徳島県	514	525	542	569	581	564

(資料)保健統計年報

表1-2-12 全出生中の低出生体重児数の割合の推移

(出生100対)

	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年
上勝町	—	—	10.0	—	25.0	10.0
徳島県	7.2	7.2	7.6	7.9	8.3	8.3
全国	7.9	8.1	8.4	8.6	8.8	9.0

(資料)保健統計年報
全国・母子保健の主な統計

図1-2-13 全出生中の低出生体重児数の割合の推移

